

神奈川県 総合防災センター・消防学校 見学会レポート

日時：2019年1月10日(木) 13:00~16:00

参加：現地集合、現地解散((12時から昼食：各自持参)

主体はマイカー(3台)に分乗

洋光台ルート、白楽駅ルート、鴨居駅ルート、直接

場所：神奈川県総合防災センター・消防学校

(所在地：厚木市下津古久280)

参加者：22名(保険リクレーション保険：1人50円)

指導協力：杉原英和 県総合防災センター長・消防学校長



神奈川県総合防災センター
神奈川県消防学校

内容：第1部 総合防災センター見学(13:00~14:30)

1. 地震体験(修理中体験不可)
2. 風水害体験
3. 消防用具・防災用品
4. 消火体験
5. 煙体験
6. 通報体験
7. 防災シアター
8. 防災Q&A
9. 耐震ベット
10. 神奈川の防災 等々

第2部 消防学校訓練施設見学(14:30~15:30)

1. トンネル訓練棟
2. 資機材倉庫
3. 倒壊建物等対応訓練
4. 土砂埋没時の救出訓練
5. 浸水対応訓練
6. 大規模火災時等の救助救出対応訓練

第3部 所長と意見交換(15:30~16:00)

★ 総合防災センター

防災情報、体験を通して、地震・風水害等体験できるコーナーや、防災情報の展示があり、楽しみながら防災について学べる。

★ 消防学校

市町村の消防職員及び消防団員の教育訓練並びに民間の消防関係者への技術指導を行っている。



杉原 英和 氏
神奈川県総合防災センター長

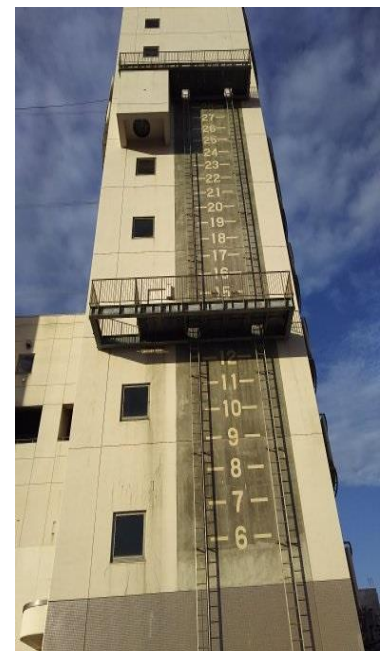


神奈川県総合防災センターにて

企画・実行 : 池田・早川・田中(喜)

★神奈川県が、消防職員や団員、自主防災組織等の対応能力向上を図る目的で建てた国内最大規模の消防施設。敷地面積約1万5千平方メートル。総事業費は2億8千万円。

★押しつぶされた倒壊家屋や壊れた車の中に進入して要救者を搬出。水没した車両からの救助訓練のための水深1・9mのプール。トンネル事故や実際に建物の火災現場からのを起しそこからの救出。高層ビルからの救出訓練、土砂災害救出訓練など、あらゆる災害を想定した12の設備が整えられている。



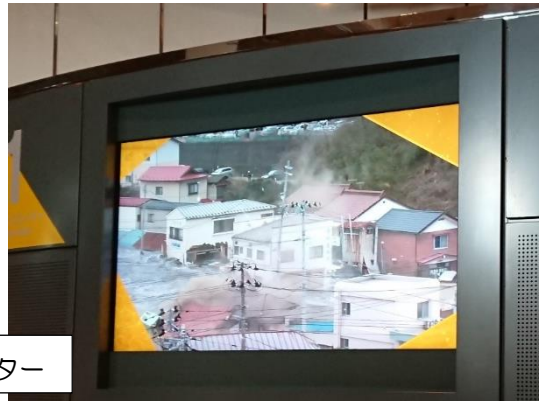
火災救出訓練用建物（2階建）
実際に出火させての訓練棟

第2訓練棟（地下街訓練施設、トンネル訓練施設、迷路室、高速道路訓練施設等）

防災センター見学風景



シアター



展示コーナー



避難経路案内図



風体験：普段は風速 30m の強風体験。
日曜・祝日午後は、雨合羽を着て暴風雨体験も。



防災センター
備蓄庫



以上寄稿：田中喜世美 (2019/3/22)

見学会の体験と感想

- 1 階：風水害体験コーナーで風速毎秒 30mの風を最前列で体験
雨も同時に体験したことがありますがかかなり厳しいです。
つかまり立ちだけで大変なので、この状況では歩けないです。
地震体験コーナーは修理中で体験できなかったのは残念です。
関東大地震、兵庫県南部地震、東北地方太平洋沖地震の体験です。
震度 7 がどんな揺れか体験できます。
- 2 階：防災シアターで津波や火山災害などの危険性についてどんな備えが必要かを映像で見ることが
できます。
消火体験コーナーでは、水消火器を使った初期消火が体験できます。
消火器を使った体験はめったにないので貴重な体験となりました。
煙避難体験コーナーでは、煙の中を安全に避難する方法の体験です。
以前よりは、簡単に脱出できるようになった感じがしました。

一通り体験終了後、災害用備蓄倉庫を案内していただきました。
ここは、各市町村の消防の活動などを支援する資機材が備蓄されており以前とは変わって
おりませんでした。一般市民用の備蓄倉庫ではありません。
その後、隣接する消防大学校を案内していただきました。
当日は、教育訓練がなく閑散としておりました。以前、訓練棟で家の倒壊家屋の中から人を
助け出す訓練をしたのを思い出しました。

最後に、杉原所長室から消防大学校の各種訓練施設を一望することができました。これは、
初めての経験でした。

ここの施設は、無料で防災の知識が習得でき楽しめるので是非周りの人に紹介してください。

感想の寄稿：田中栄治